

創立111周年記念式典開催さる



平 成29年6月1日(木)に生命歯学部富士見ホールにて創立111周年記念式典が厳かに執り行われました。本学教職員と退任された名誉教授、校友会会員の卒後50年(第56回卒)、卒後25年(東京・新潟第81回卒)計84名、新潟生命歯学部学生、

校友会常務役員の400余名が参列しました。また生命歯学部図書館(通称:ハリーポッター図書館)の特別開館もあり、式典前後に参列者は見学を堪能しました。

校友会常務理事 **大井 了**(71回)

D Muse 2017 開催報告

日 本歯科大学校友会主催のD Muse 2017が、4月9日(日)ホテルグランドパレス九段下にて開催されました。昨年まで「女性歯科医師の集い」として行われていましたが、今年から名称が「D Muse」に変わり、新たに生まれ変わりました。

講演会では、口腔リハビリテーション多摩クリニック科長 田村文誉先生に「子どもの食と歯科とのかかわり」についてご講演いただきました。子どもたちにどのような問題があり、それらにはどのような背景因子があるのかを探り、保護者からは何を求められているのかを知った上で、無理のない支援を心がけることなどを日本歯科医学会調査などの結果を踏まえながらお話いただきました。

懇親会では特別ゲストとして、辰巳琢郎さんをお迎えして楽しいお話を伺いました。お料理ごとに出されたワインのお話や、質問コーナーでは会場の皆様からの質問に应运えてくださり、大変盛り上がりしました。

今回は日本歯科医師会や他大学歯学部同窓会からもご来賓をお迎えし、また生命歯学部から6年生の會田莉紗さん、江藤仁香さん、大橋未来さん、寒竹容子さん、新潟生命歯学部から6年生の横井康乃さんも参加してくれました。最年長の53回卒の先生から学生まで、総勢100名以上の校友の方々が一堂に会し、大盛況に終えることができました。「D Muse」に変わったことを機に、今後は女性歯科医師の枠にとどまらず、幅広い活動をしていきたいと考えております。今回のD Muse 2017の様子は校友会HPに掲載されておりますので、ぜひご覧になってください。

山田麻衣子(93回)



校友会からのご挨拶 AIで社会が変わる

近藤勝洪 会長



創 刊から4年経ったKOYU Timesは、学生諸君に日本歯科大学校友会を知ってもらうとともに、母校と会員を結ぶ話題や情報を提供する目的でスタートしたものです。

平成23年3月11日に東日本大震災が起これ、その後の6年の間にも、昨年4月には熊本地震、10月に鳥取地震、11月に福島沖地震、12月に糸魚川大火災と日本列島は立て続けに大きな災害に見舞われました。

自然災害は忘れる間もなく我々を襲います。首都直下地震の発生も予見されています。会員が危機に直面した時、全国の校友が互いに支え合っていくのが校友会の特徴であります。

ここ数年、あらゆる分野に「AI(エーアイ)」が大活躍しています。

囲碁、将棋の世界においても、プロ棋士にAIが互角の勝負を展開するまでになり、間もなく人間を超えるといわれています。まさに人工知能(Artificial Intelligence)そのものであります。ICT、人工知能(AI)、ロボットなどを用いて質の高い医療・介護サービスを受けられる環境を整えるため検討が進んでいます。

歯科領域においても、器械・材料にICT、AIが活用されつつあります。学生の皆さんが、日本各地で歯科保健・医療に携わる頃には、AIなしでは仕事のできない社会になるのではないかと思います。

KOYU Timesは、東京、新潟の学生諸君をはじめ、母校の先生方にも読んでいただいているものです。学生諸君が読んで楽しく、話題に上る情報を提供していきますのでご愛読をお願いします。

ジュビリー 5025 開催!!



校友会会員のジュビリー 5025該当者には、校友会から記念特製バッジ(卒後50年はゴールド色、卒後25年はシルバー色)と、各学年の卒業時の日本歯科大学新聞、大学から記念品として中原 實作絵画の図書カードが贈呈されました。また式典終了後、午後1時からホテルグランドパレスの大学主催祝賀会では、大学教職員や退任された名誉教授との懐かしくも楽しい時間を過ごすことができました。

卒業してからも、大学はいつまでも私達の永遠の学舎です。そして大学と校友会会員の絆は深く、どこまでも家族のように迎えてくれます。

卒業時に校友会に入会して、ぜひこの記念すべき母校の創立記念式典に参列して恩師、先輩、同期生、後輩と一緒に思い出に満ちた一日を過ごしてみてください!

校友会常務理事 佐藤全孝(74回)

国家試験体験記

私の国家試験までの勉強の軸は、大学の授業です。

先生方は歯科医師であり、教育者です。本物の医療人から本当に大切なことを教えていただいているのです。そして何より国家試験対策のプロです。私たちが歯科医師として必要なポイントを知識として学べるのは授業中です。眠い日もあるでしょうが、しっかり学んでください。そのうちわかりますが、どんな予備校の授業より先生方の授業の方が勝っています。私たちを一人前の歯科医師にすること(国家試験合格)が、大学の先生方の使命だからです。本当にありがたいことなのです。

1・2年生は、一般教養や歯科の専門分野が始まります。理解するには難しいので教科書等で復習し基礎を固めておくとか後々苦労しません。

3年生は、実習と授業をリンクさせることができるのでレポートを考えながら学習できると思います。

4年生は、CBTとOSCE合格のために、問題集を解いて実践練習をすると良いです。

5年生は、病院実習で手技を身に付けるのはもちろんですが、ただ手を動かすのではなく、治療の流れや考え方、器具の種類、材料の成分や使用法などを学べる良い機会です。

国家試験には、技工操作の順番も出題されるので技工士の先生に技工物製作過程を見せていただくと大変勉強になります。百聞は一見に如かずだからです。

6年生は、授業プリントと教科書を中心に勉強しました。何も理解しないまま問題集を解いても答えを覚えるだけで意味がありません。ある程度実力が付いてからで十分間に合います。国家試験までの限られた時間を無駄にしないために、毎日計画を立てて、その日のことはその日のうちに理解し、分からないことは先生や友達に質問して解決すると良いです。

先生方は親身になって答えてくださいますし、分かるまで一緒に考えてくれます。周囲からの刺激を受けつつも、流されないように自分のペースで勉強することが大切です。

今回このような機会を与えてくださいました校友会の先生方に感謝申し上げます。

後輩の皆様方におかれましては少しでも勉強の参考にしていただければ幸いです。

皆様の歯科医師になる夢が叶いますことを心からお祈りいたします。



附属病院
臨床研修歯科医
平野萌香
(106回)

皆様の歯科医師になる夢が叶いますことを心からお祈りいたします。

新潟生命歯学部2年 村上可奈

新潟校学生有志による 「にいがた魅せ笑顔・ 美味しい顔 増やし隊」 始動!



新潟生命歯学部の学生会などの学生有志は、「にいがた魅せ笑顔・美味しい顔 増やし隊」を結成し、新潟日報社が主催する地ラボニイガタプロジェクトに参加することとなりました。地ラボニイガタプロジェクトは新潟県内の23大学と高専が参加し、各大学の活動はイベントや紙面でも報告されます。県内初のクラウドファンディング方式での活動資金調達が実施されます。皆様からの「いいね!」の数で活動資金が分配されますので、よろしく願いいたします。

新潟生命歯学部5年 村戸建宏

「第2回 英語スピーチコンテスト優勝」

新潟経営大学第2回英語スピーチコンテスト[大学の部]において優勝をいただき、とても嬉しく、そしてもっと英語を学びたい気持ちが大きくなりました。今回のスピーチコンテストでは「観光」または「英語と私」の2つのテーマがあり、私は後者を選択し、「Why is communication valuable?」という題目で真のコミュニケーションについて考えスピーチしました。昨年の夏、本学の姉妹校からの留学生との交流を通して感じたことや新たな気づき、そして私自身の高校時代の経験にも触れました。さらに、国境や文化の壁を超えて、コミュニケーションに大切なのは、「心」であるということを確認させてくれたこともお話ししました。今回のスピーチコンテストを通して皆さんと夢や思いを共有することができ、私に新しい出会いを与えて下さったことに感謝します。

新潟生命歯学部2年 村上可奈



新潟生命歯学部 3 年生への特別講義

新潟 平成29年5月11日(木) 16:10～

① 開会 歯学部長 藤井一維

② 挨拶 校友会副会長
藤井重壽

③ 講義 講師：中原 貴先生(88回)
演題：バイオ再生医療をになう
歯髄細胞の魅力

④ 質疑

⑤ 閉会 歯学部長 藤井一維

今回のテーマは医学分野の中でも
最注目話題の講義とあって、70
名近い参加者も近未来の話に真剣
に聞き入っていた。聴講後の質問
も活発に交わされた。



生命歯学部 3 年生への特別講義

東京 平成29年5月18日(木) 18:15～

① 開会 榎本 仁(4年)

② 挨拶 校友会会長 近藤勝洪
学生会会長 望月 航(5年)

③ 講師紹介 校友会常務理事 橋本博之

④ 講義 講師：倉治ななえ先生(68回)
演題：歯は命～超高齢社会に貢献する歯科医療を
女性歯科医師の視点で考える～

⑤ 質疑

⑥ 閉会・講評 学生部長 菊池憲一郎

実習後で疲れているにも関わらず皆
さん、将来の参考になる内容に興味
深く聞いていた。講義後も質問があ
り意義ある特別講義になった。



平成28年度校友会 スポーツ・文化・学術大賞 校友会 特別表彰

平成28年度校友会スポーツ・文化・
学術大賞の表彰式が、平成29年4
月28日(金)午後2時から福島県猪苗代町
の体験交流館「学びいな」にて、合同合
宿開会式の中で行われました。開会式は
谷中優珠さん(東京・4年)の司会進行で
始まり、呉屋 龍君(東京・4年)の開会の
言葉、中原 貴 日本歯科大学理事・副学
長のご挨拶があり、続いて藤井重壽校友
会副会長の学生たちへの激励の挨拶が
あり、合同合宿実行委員長の宮坂直樹君

(東京・4年)へお祝いの金一封が渡され
ました。また、スポーツ・文化・学術大
賞として、生命歯学部からは平成28年度
体育会会長の関口貴之君(5年)と新潟生
命歯学部からは第48回全日本歯科学生
総合体育大会 陸上部門 砲丸投げで優
勝した猪子修平君(5年)が受賞、それぞ
れに校友会から表彰状と金一封が贈られ
ました。また、来賓紹介の後、誠和会に
よる校歌斉唱と合同合宿の成功を祈っ
ての力強いエールが贈られ、合同合宿にか



ける熱い思いが伝わりました。続いて呉屋 龍
君(東京・4年)閉会の言葉で終了しました。

校友会常務理事 佐藤全孝(74回)

〈 合同合宿に参加して 〉

Tokyo



今年も合同合宿の季節がやっ
てきました。東京校と新
潟校の両生命歯学部により4月
28日から5月2日までの5日間、
満開の桜の中福島県猪苗代町で
開催されました。

4月28日に、猪苗代町「学びいな」での合同開会式に中原貴
副学長にご臨席いただきご挨拶をいただきました。今年の参加
人数は両学部合わせて約330名と昨年同様の参加者でした。4
月29日より、13部活が参加し猪苗代町や会津若松市などに分
かれて活発に活動をはじめました。その後、5月2日には合同
閉会式が丸峰観光ホテルで行われました。

長い人生の中でも大学生活で送る6年間はかけがえのない大
切な時間です。この6年間に将来の目標に向かって専門的な知
識を学び、技術の習得に励むことも重要ですが、学業以外に、
クラブ活動で多くの友と語らい、汗を流すことも
大切なことだと思います。心をつなぐことで
友情と信頼が育まれた貴重な時を過ごすことがで
きました。

生命歯学部4年 宮坂直樹



Niigata



今年度の合同合宿は昨年より
1日多い4泊5日の日程で行
われたこともあり、例年以上に
両校の親睦を深められたと思
います。昨年度より下見など
をして準備をおこなってきま
したが、

合同合宿を前にして問題なく運営を行えるか不安でした。しか
しながら、参加された学生の協力もあり怪我や問題も起こらず、
無事に合同合宿を終えることができました。今回の合同合宿を
糧に東京・新潟両校共に歯学部での好成績に繋がることを期待
しています。私たち実行委員におきましては、自分達が主体とな
って運営を行うという貴重な体験を、今後の学生生活に活かして
いきたいと思います。来年度の実行委員は、今年度の合同合宿
の改善点を来年度の合同合宿に活かせるよう努め、合同合宿が
より実りあるものになるよう頑張ってください。最後に、合同合
宿開催にあたり、我々を温かく迎えてくださった磐梯
スポーツ村ならびに、丸峰観光ホテルの皆様、多くの
支援をくださった本学の関係者の皆様、誠にあり
がとうございました。

新潟生命歯学部4年 杉木隆之



合気道と私

La passion traverse les continents et unis les amis!

東京都杉並区にて開業
合気道6段 合気道部OB会会長・
合気道部監督・
OB 教職員合気道部代表
吉野勝久 (76回)



10時間からの拘束にうんざりした頃、アエロフロート機はモスクワシェレメチボ空港に着陸。ここからアエロ国内線で1時間ちょいでニージノブゴロド空港へ、そこから車で30分。今年で4度目のクストボ町だ。ここの「国際オリンピックスポーツアカデミー」でロシア合気道子供講習会が3日間の予定で開催され指導者として行ってきました。4泊6日のショートステイですが、日本人一人旅は彼の地では結構ドキドキものの、ロシアの子どもたち120人ほどの可愛い笑顔が安心させてくれました。大人クラス講習では、自分の小さいことを痛烈に認識させてくれる大きい人がほとんどで、その人達にどう対応するか探りながらというのも楽しいものです。

また、密かに楽しみなのはこの6日間すべて、自分の頭の中が合気道中心にフル活動できること。日

本国内では常に仕事モードが頭に割り込んで来るのですが、海外ではその心配はないのでドブプリ合気道三昧を味わえます。これは、私の師である安野正敏師範(合気道部師範)からの依頼で派遣されています。本当に感謝です。

今回もロシア安遊会代表アレクセイ氏宅にホームステイしてロシア家庭料理を堪能させていただきました。ポルシチは定番ですが、白きのこのシー、ピーフストログノフも日本と違いカーチャと呼ばれる蕎麦の実を茹でたものにかけてたっぶりのサワークリームをトッピング。蕎麦のプチプチ感がソースとベストマッチです。ペルミニという水餃子の小さいものにもサワークリームをつけていただきますが、彼は焼きペルミニに持参した醤油をつけてご機嫌! 次回はラー油と酢をお土産にしようと密かに笑いました。

合気道の名前は聞いたことはありますでしょうか。試合がない故に触らないで投げるやつでしょ、ヤラセっぽいよねと、メディアで面白おかしく紹介されているイメージでしょうか。ご多分に漏れず自身も合気道部に入部時は訳分からん武道だな~と思っていたのですが、実は自身が人間として未熟だった故であることに最近気付きました。私にとって合気道は奥深く、社会人として生きていく規範や覚悟を稽古で身に染み込ませ、それを歯科診療に実践活用するものと思っています。



世界の絵画と歯科風俗史
著者: パーナードS.モスコ

図書館からの
推薦図書

出版社: 書林 出版年: 1982-1
請求記号: D0.21-M
登録番号: 000054997 000083330

歯科医をテーマとした芸術作品を国ごとに年代順に分類した美術書です。それぞれに解説が付いていて、当時の治療風景がよくわかります。日本に関しては、「医の博物館」所蔵の浮世絵が中原学長の解説と共に載っています。眺めているだけでも楽しいので、勉強の合間に手にとってみてはいかがでしょうか。
日本歯科大学新潟生命歯学部図書館 内藤裕子

図書館からのお知らせ

生命歯学部

●図書館開館情報
土曜日開館: 7月1日・8日・15日
開館時間: 10:00 ~ 17:00
21時迄開館[平日]: 6月26日(月) ~ 7月19日(水)
開館時間: 9:00 ~ 21:00
夜間開館のみ: 9月13日(水)
開館時間: 17:00 ~ 20:00
夏期休暇による開館時間短縮:
8月10日(木)、15日(火) ~ 16日(水)
開館時間: 9:00 ~ 17:00
蔵書点検による閉館: 8月3日(木) ~ 9日(水)
*大学行事によって開館時間・閉館日の変更がありますので、来館前には図書館ホームページでのご確認をお願いいたします。
大学一斉夏期休業: 8月14日(月)

企画展示

7月: 論文・レポートの書き方
9月: 歯科医学と美術

新潟生命歯学部

●図書館開館情報
試験のための開館時間変更
8月28日(月) ~ 9月12日(火)の平日/
8:00 ~ 21:00
9月21日(木) ~ 9月28日(木)の平日/
8:00 ~ 21:00
学生長期休暇中の土曜日閉館
7月15日(土) ~ 8月19日(土)

診療室での物語

カルテ No.16

歯科臨床から得た 科学へのモチベーション



生命歯科学講座
生命歯学部
歯周病学講座
併任助教
倉治竜太郎
(101回)

生命(いのち)に関わる歯学研究がしたい! 私が大学院に進学したきっかけは、そんな思いから始まりました。学生時代、解剖学研究会に所属していた私は、人体の全身解剖実習を取り入れた活動を通じて、生体における口腔機能の重要性に興味を持つようになったのです。

私の専門分野である歯周病は、歯の表面に蓄積した細菌集合体(プラーク)と、それに対抗する宿主の生体防御反応によって引き起こされる歯周組織の炎症性病変です。炎症により歯

肉・歯槽骨などが破壊され、歯周病が進行すれば、最後には歯は抜け落ちてしまいます。近年、歯周病患者において、微生物や炎症物質が循環器系を通じて全身を巡り、糖尿病や動脈硬化など全身の病気に悪さをすることがわかってきました。言い換えれば、歯周病の治療が命を脅かす疾患を予防し、健康の維持に寄与する可能性があるということです。この概念をペリオドンタルメディスン(歯周医学)と言いますが、学生時代に授業でこの話を聞いた時には、「正に生命に関わる歯科学だ!」と興奮したものです。このような理由から大学院で歯周病学を専攻した私は、歯周病と全身疾患、特に肝臓の病気との関係をテーマに学位研究を行いました。院を卒業した後も、この研究は継続しており、現在では「口腔から循環系へ侵入した病原因子が生体内でどのような動態を示すか?」という疑問に基づき、新たな研究の幅を広げたいと考えています。

さて、学生時代の体験から得た研究へのモチベーションは、歯科医師にな

り、臨床で患者さんと接するようになる、さらに高まることとなりました。百聞は一見に如かずと言いますが、実際に経験することの衝撃は、何物にも勝るのだということを実感した出来事があります。私が担当している患者さんの一人は、関節リウマチという自己免疫疾患を患っていました。ある時、患者さんから「歯周病の治療を受けたら、血液検査の数値が改善した」ことを伝えられ、その検査結果を見て私は驚きました。これまで食事や薬物療法だけでは改善しなかった炎症のマーカーが基準値の範囲まで減少し、さらに手指のこわばりや関節痛などリウマチ特有の症状も回復したというのです。本当にこんなことってあるのだろうか!? 普段からこの分野に興味があった私も、実際の状況を目の当たりにすると、この現象をどう受け入れるべきか半信半疑でした。

そんな時、客観的に物事を判断する有効な手段が「科学」です。歯周病と全身の関係が科学的に検証され始めてから約30年が経ち、その間には、関節リウマチを含む様々な病気に

対する歯周治療の意義が報告されています。今回、ご紹介した患者さんに見られた現象も、複数の文献を読み解くことで、単なる偶然や思い込みではないことが、改めてわかってきました。

私たち歯科医師が日々扱っている臨床医学とは、患者さんから得た様々な症例を集めて解析し、治療に用いる「経験の科学」であり、その考え方には「経験した事実を実証的に探求すること」が根底にあります。今でこそ世の中に溢れる多くの情報を簡単に利用することができますが、こうした科学的根拠が生み出される背景には、きっと多くの先人たちが日々苦悩し、問題解決のために試行錯誤した、臨床の裏側があったのだらうと拝察します。

我が国で唯一の「生命歯学」の学部名を冠する本学を学舎とする皆さんには、是非とも「いのち」に関わるということ、そしてヒトが「生きる」ということに、歯科医療がどのような意義を持つかをじっくりと考え、それぞれが心に抱く将来の歯科医師像を目指して頑張ってくださいと願っております。

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

